

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせします。調査問題・結果等については国立教育政策研究所のウェブページでもご覧になれます。

問 教育指導課 03-5722-9313

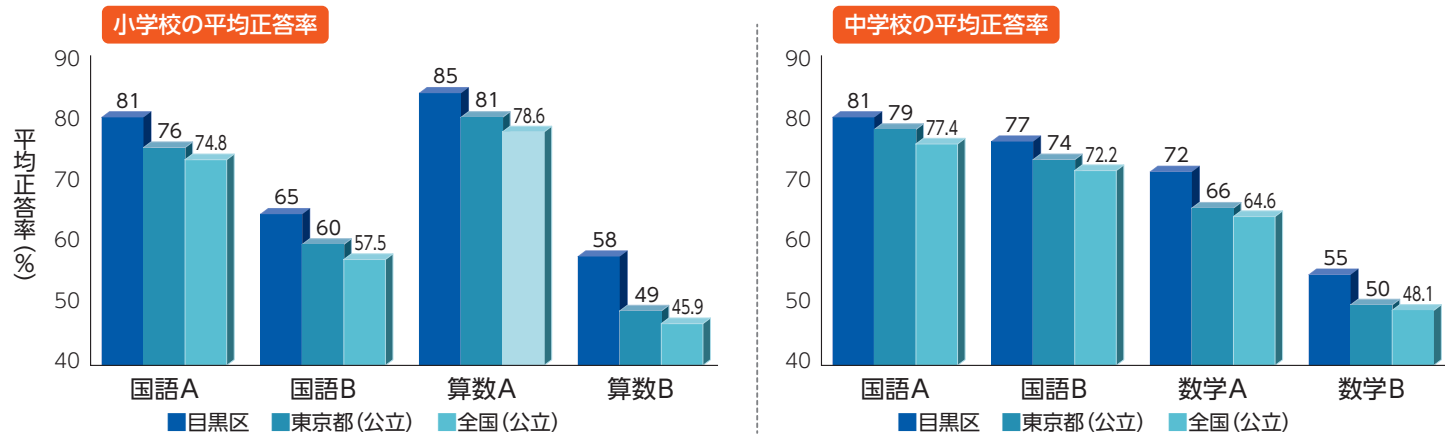
<http://www.nier.go.jp/>

調査概要

- 対象／小学校第6学年、中学校第3学年
- 日時／平成29年4月18日（火）
- 事項／1 教科に関する調査
 - (1) 主として「知識」に関する問題 …… 「国語A」「算数・数学A」
 - (2) 主として「活用」に関する問題 …… 「国語B」「算数・数学B」
- 2 質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査）

1 教科に関する調査結果

※平均正答率……国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学Bごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）

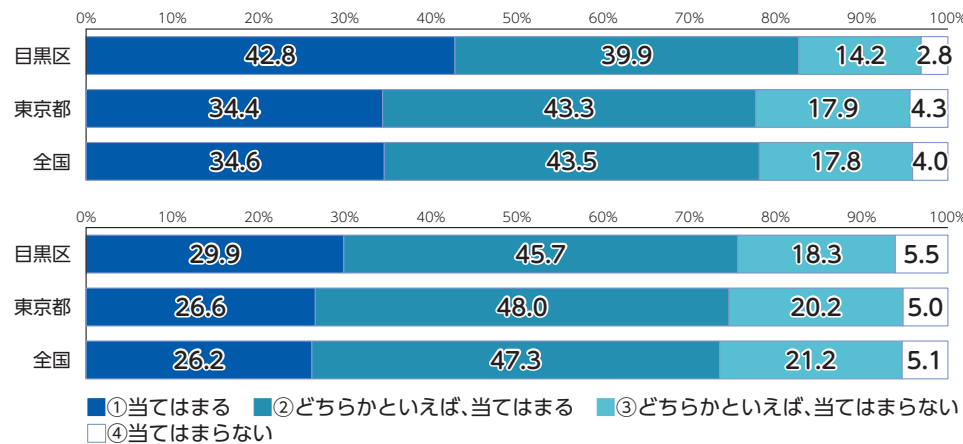


目黒区は小・中学校ともに、調査した全教科において、全国平均正答率・東京都平均正答率を上回りました。特に小学校の算数Bについては、全国平均正答率を12.1ポイント、東京都平均正答率を9ポイント上回っています。しかし、今まで学習したことを用いて考えたり、自分の考えを説明したりする活用に関する設問の正答率は知識を問う設問に比べ、低い傾向となりました。

2 質問紙調査結果の一部（「自分の考えをしっかりと伝えること」に関する調査結果）

小学校の質問
5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。

中学校の質問
1・2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。



「自分の考えをしっかりと伝えること」に関する質問紙調査では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した目黒区の児童数の割合は82.7%、生徒数の割合は75.6%となり、全国、東京都より上回っています。また、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」に回答した児童・生徒の「教科に関する調査結果」における平均正答率は、他の選択肢に回答した児童・生徒の平均正答率と比べて高い傾向が見受けられます。

調査結果を踏まえ、さらなる学力の向上を目指し、根拠を明確にして自分の考えを書く活動や、互いの発言を検討して自分の考えを広げる話し合い活動の充実を図るなど、授業の工夫・改善を行っていきます。

めぐろの学校教育 学校の特色ある授業や取り組み

問 教育政策課 03-5722-9432

仲間を大切に

第一中学校

第一中学校は、今年70周年を迎えました。この1年を通じて生徒の考えや願いを生かした「70周年の祝いの行事」を実施しています。生徒を主体性ある社会人にはぐくむチャンスであると考え、生徒に「祝う願いを込め、何がやりたいか」と問いかけたところ「高校で行っている文化祭がやりたい」「模擬店を出したい」「地域の小学生を呼んで一緒に祝いたい」などの声が上がりました。



全校生徒131人中50人が、立候補により実行委員になりました。



実行委員の人数が多いので、話し合いに時間がかかりますが、生徒たちは、次々とアイデアを出し活発に意見交換をしました。生徒たちの考えが実現していくことにより、学校中のイノベーションアップにつながり、学校中が活気にあふれています。

第一中学校10周年記念に作られた「一中音頭」に、現生徒会役員が70周年記念の振り付けをし、当日のフィナーレに生徒・保護者・小学生を含む地域の人たちとともに踊りました。

この他、70周年記念行事として落語講演会を行ったり、駒場東大前駅の線路沿いに美術部が中心となって13mに及ぶ絵を描いて掲示したりしています。

第一中学校の生徒たちの多くは、幼稚園・保育園・小学校・中学校と一緒に進学してきたこともあり、みんな仲が良く生徒は団結しています。教育の面では、少人数学習指導が、自慢できる点です。国語・数学・理科・英語の4教科で少人数学習を



実施しています。わかる楽しい授業を展開しています。



←70周年記念で制作したタオル

平成30年4月の新入生から新しくなる標準服

小学校・中学校の連携強化

下目黒小学校

下目黒小学校は、今年139周年を迎えました。創立以来、地域の人々に支えられ、現在の下目黒小学校があります。

下目黒小学校では、小学校から中学校へ無理なく進学できるよう9年間を見通した継続的なカリキュラムに基づく小・中連携教育を推進しています。目黒区は昨年度から東京都英語教育推進地域に指定され、本校は、教育開発校指定校として「目黒区外国語教育モデルカリキュラム」に基づく英語教育に取り組みながら、小学校で学んだ英語活動が大鳥中学校での英語の授業へと積み上がっていくようにしています。大鳥中学校の英語教員が、卒業生である大鳥中学校の生徒とともに来校し、出前授業をすることもあります。英語にとどまらず他の教科や行事等、学習面、生活面での円滑な連携を一層図っていきます。



また、大鳥中学校の生徒との交流にも積極的に取り組んでいます。「あいさつ運動」では、卒業生である大鳥中学校の生徒とともに小学校の校門で「おはようございます」と大きな声で挨拶をする取



大鳥中学校長による出前授業

組みを年間2回、実施しています。他にも、いじめをゼロにするために中学生と一緒に話し合う「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」、中学校の文化祭の見学や部活体験などの交流も実施しています。

さらに、秋には大鳥中学校地域教育懇談会主催の行事「つなフェスタ」が開催され、大鳥中学校区の小学校である下目黒小学校、田道小学校、油面小学校、不動小学校が大鳥中学校の校庭に集まり、綱引きや交流ゲームをするなど、地域との交流も盛んに行っています。